

# THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



## WEEKLY

# なごや ちくさ

題字 黒野 貞夫

名古屋千種ロータリークラブ  
承認 1982年 8月24日  
例会日 火曜日 12:30  
例会場 愛知厚生年金会館  
事務局 ☎763-5110  
会長 新美 敢  
幹事 堀江宏輝  
会報委員長 魚津常義

No. 28

ロータリーに活力を——あなたの活力を

PUT LIFE INTO ROTARY — YOUR LIFE

1988～89年度 R I 会長 ロイス・アビー

第320回例会 平成元年 1月17日(火) 晴

◇ “奉仕の理想”

◇ 出席報告

会 員 59(58)名 出席 40名

出席率 68.97%

前 回 1月10日 (修正出席率) 100%

◇ ビジター紹介

東京神田R C 木村 榮一君 他5名

◇ お誕生日祝福

吉田夫人(1/1)、菊池君(1/2)、小笠原夫人(1/2)、石田夫人(1/4)、池田夫人(1/9)西村君(1/10)、小坂井夫人(1/11)

◇ ニコボックス

刈谷R C 日高 清夫君、金子 利夫君

4月22,23,24日の地区大会お誘いに参りました。

鈴木 理之君 ちょっと所用で失礼します。すみません。

松居 敬二君 長女が成人式を迎えました。

水野 民也君 早退お目にみて下さい。

三輪 康君 1月14日の父の葬儀には、いろいろありがとうございました。

宮尾 紘司君 友人のカセム氏をお迎えして。

菊池 昭元君、西村 禎二君 誕生日祝い。

結婚記念日祝い。

吉田 節美君、小笠原 清君、石田 耕嗣君、

池田 隆君、小坂井 盛雄君 夫人誕生日祝い

小山 雅弘君 結婚記念日祝い。

◇ 刈谷R Cより地区大会ご案内

今春1989年4月22日(土)、23日(日)、24日(月)にわたり刈谷ロータリークラブがホストとして国際ロータリー第276地区大会を開催することになりました。なにかとご多忙中とは存じますが、どうかご家族様ともども多数のご参加を私共会員一同心よりお待ちしております。

◇ パナー交換

刈谷R C

◇ 千種警察署より感謝状披露

◇ 大口副幹事報告

1. 本日例会終了後、次年度理事役員会を開催いたしますので、次年度理事役員の方は2F扇の間にお集まり下さい。

2. ロータリーの友1月号がきておりますので、お帰りにお持ち下さい。

◇ 米山功労者メダル授与

新美 敢 君

◇ 三輪君挨拶

12日、父が亡くなりました。皆さんからいろいろご配慮いただきましてありがとうございました。

父は長いこと糖尿病で、急性心不全で亡くなりましたが、本当に急で後に残された者は大変でした。遺言はやはり必要と感じました。

◇ 新美会長挨拶

平成の時代に入って初めての成人式も自粛ムードの余波で心なしか寂しい気も致しましたが街に繰り出した若者たちの姿は結構華やいだ装いが多く夜入っての熱田さまへの参拜も久しぶりに活気があった様です。

境内外を合せると9万坪を持つ熱田神宮の創始年月は不明ですが明治40年までは名古屋市ではなく、小さな町だったと言い、交通機関は神宮西門から本町通りを北へ大須まで馬車があり補助機関として人力車があった様です。伝馬町から南へ浜の方までを神戸(こうど)と言って盛り場が続いており伝馬町は旅人が馬を乗り継いで行く場所だった様です。この盛り場に遊廓も転在した様ですが今日は時間ありませんので次の機会にでもお話しさせていただきます。

◇ 講演

“西太平洋地域の将来と日本の役割”  
国際連合地域開発センター 研究員  
モンテ・カセム 氏

(紹介 官尾君)

講演者のご都合で、内容は次回に掲載させていただきます。

◇ 1987年度青少年交換学生

ヘザー・ワローズさんお手紙紹介

皆さんへ

今日は、皆さんはお元気ですか。私はとても元気にしています。ひさしぶりですね。私のことをまだ覚えているかい。時間のたつのがとても早いですね！早くまた日本に行って皆さんと会いたいと思っています。

もう冬休みになってよかったです。今まではずっと忙しかったです。やはり大学の勉強には励んでおりました。それと火曜日にもウィネベグ大学で日本語の授業もありました。そして毎週水曜日の晩に三時間女の人のために車の機械学校に行っていました。大たい生活はとても忙しくて楽しいです。

冬休みの間に友達とスキーに行きます。とても楽しみにしています。でもアルバイトをしなければなりませんので日帰りで行くつもりです。

それでは皆さんはお元気で体を大切に  
明けましておめでとう

ございます！

カナダのヘザーより

◇ ガバナース・レターより

ロータリー平和会議に出席して

ガバナー 高沢 隆

11月7日、8日の2日間にわたり、広島市に於いて本年度第4回の「ロータリー平和会議」が開催されました。ロータリー平和会議と呼ばれるこのプログラムは、世界平和を真剣に考える目的でつくられました。この平和会議は非政治的なもので、平和達成のために個人やクラブが採ることの出来る大小様々な方法を明らかにすると同時に、我々の時代の重要な課題について対話の促進を図ることを目的とするものであります。この平和会議は、ロータリー財団の最も新しいプログラムで、アジアで行われる最初の会議が、平和の原点と云われる広島市で開催されたことは、誠に意義深いものがあると思われました。

会議には、ロイスアビーR I会長、カドマンロータリー財団委員長をはじめ、海外よりはアジア太平洋地域を中心に約100名、国内

より約500名の参加があり、ロータリアンの平和に対する真剣な討議のうちに有意義に2日間を終了することが出来ました。

第1日の開会式に於いてロイス・アビーR I会長は次の様に挨拶をされております。

広島で開催されるこの平和会議は、第4回目のものですがアジアでは初めての会議となります。今日までに3つの平和会議が開催されました。1988年2月29日第1回の会議がアメリカのエバンストンで開催され、「非政府組織はいかに平和に貢献できるか」で話し合われました。第2回はコスタリカのサン・ホセで開かれ、テーマは「中米における平和と夢」でした。第3回は9月24日フランスのニースで開催され、テーマは「地中海地域の摩擦について」であります。今回の広島での会議のテーマは「ヒロシマの心を世界へ」であります。平和はすべてのロータリアンの支持するものであり、「ヒロシマの心」を全世界の人々に理解して頂き度いと思ひます。

第2日に、「太平洋時代とロータリアンの平和への貢献」をテーマとして3時間半にわたって熱心な討議が行われました。モデレーターは千宗室R I理事、パネリストとして基調講演をされたのは、荒木武広島市長、岩村昇R I国際理解平和賞受賞者、呉在璟R I理事、R. スチュアート平和会議諮問委員、S. サントスR I理事イレクトであります。その中で韓国人として第二次大戦を経験した呉在璟R I理事のスピーチの1節を紹介しておきます。

1つの原子爆弾が、広島全域の92%に被害を与え20万人の死傷者を出しました。その中には私達の同族朝鮮人が7万人も居たとのことでした。強制徴用と徴兵で連れられて来た彼等でした。憲兵警察に依る統治36年の間の私達朝鮮人は悲惨そのものでした。名前も奪われ、言葉も失った私達でした。1つの民族が、他民族の支配の下に生きる責めの半分は自らにあると考える私ですが、本当に惨めなものでした。私はその惨めな時代に生まれ、そして26年間その下で育ったのでした。広島長崎証人の会で或る主婦は云いました。強制的に連れて来られ被害を受けた朝鮮人達は、原子被爆よりも日本をもっとうらんで居るのではないかと。

原爆の地広島に来て、私達ロータリアンが世界平和の為に何が出来るか、又何を行うべきか。考えさせられるものが多かったフォーラムであったと思ひます。

◇ 次回例会 (1月24日)

友愛の日 (立食例会)

◇ 次々回例会 (1月31日)

講演 “私の職業について”

会員 中山 信夫君、山本 真輔君